

男女平等推進センターの後継の再認識を
白石 玲子
 (ネットワークひろば)

【質問】 地域防災計画の改訂に、女性の視点をどう取り入れていくのか。
答弁 東日本震災の教訓を踏まえ、高齢者・障がい者・女性などの特性や実情に即したきめ細かな対応が必要。災害時要援護者や女性の視点に立つた見直しに努めたい。

【質問】 事業仕分けそのものの検証について、①委員構成、事業選定基準等の課題をどう考えるか。②特に男女平等推進センターについては、事業の正確な理解がなされていないのではないかと。補正①事業選定では、あらかじめ候補者の絞り込みも必要と考えている。委員構成は、特に男女比について、パランスのとれた状態とは言えないものとなった。今後は、年齢・性別・分野等のパランスを優先する必要がある。②センターの認知度が低く男女共同参画が進まない現状を認識し、推進体制や施策の在り方等を見直ししていきたい。

市長に辞職勧告決議
野島 武夫
 (自民クラブ)

【質問】 市長の政治姿勢について、これまでの市政運営において、市長自身にさまざまな問題があり、今回は職員の問題も発覚した。市役所は組織として問題があるのではないかと。市長 一般会計予算の3度の否決という重大な事態を招いたことに関し、その責任を重く受け止めており、これまでの市政運営で反省すべき点もあつたと考えている。職員の懲戒処分はまことに遺憾であり、深くおわび申し上げる。私はもちろんのこと、職員一同、気を引き締めて、一つ一つ課題を整理し、誠意をもって市政運営に取り組みたい。

【質問】 家庭こみ収集有料化は、市長の任期中に行うのか。
 市長 実施計画が確定できておらず、今後、一定の時間を要すると考えており、素案で示したスケジュール通りには実行できない。

市政の改革は進んでいるのか?
佐藤 一郎
 (みんなの党)

【質問】 来年度も事業仕分けを行うとのことだが、異なる手法で行うのか。
 市長 仕分け市民会議の運営を含めた在り方については検討を行っている。対象事業の選定や仕分け委員の募集・選出方法については、課題と捉えており、対応策を検討していく。

【質問】 次世代育政行動支援計画では、家庭福祉官の開設目標を毎年1施設としていくが、市としての支援は。
答弁 残念ながら計画通りには増えていない。今後も新規開設する方を募り、希望者には地域ごとの待機児等の情報提供や開設準備の財政援助を行う。
【質問】 市長自らツイッターやフェイスブックで情報発信をすべきと思うが。
 市長 市長の役職の中で行うことは、個人として行う政治活動は切り分けなければならない。長として公式の見解をツイッター等を使って発信することは、現時点では考えていない。

市長には本質が見えているか?
並木 克巳
 (自民クラブ)

【質問】 約3年の市政運営を振り返って感想は。
 市長 「情報公開、市民参加、市民との対話」を基本姿勢とし、さまざまな政策の実現に努めました。しかし、市政を取り巻く環境は厳しく、行政課題は山積している。市民生活を守り、安心を与えられる市政の実現を目指し、将来にわたって持続可能な市政運営を行うため、市長として先頭に立って市政運営を行って来た。

【質問】 いじめ問題の対応策は。
教育長 いじめをなくすことが教育委員会と学校の使命である。いじめから児童・生徒を守るには、被害者の安全を確保する措置を迅速に講ずることが必要。学校教育法上の措置や関係機関との連携も含め、あらゆる措置を取り、被害者と学校が一体となって取り組む、被害者を守り通す姿勢を示すことが重要と考える。

進取的な産業・教育政策を!!
小山 貴
 (自民クラブ)

【質問】 産業誘致の今後と期待される財政効果は。
答弁 上の原地区の企業等誘導については、支援委託業務が9月末で完了し、最終報告書が提出された。報告を受けた、Rも行った。さらなるPR活動を継続する。地権者との情報共有や連携にも努めている。財政効果については、固定資産税・法人市民税の増収、市民の雇用創出・市内事業所の取引増などが考えられ、安定した税収確保につながるかと期待している。

【質問】 図書館の指定管理者制度導入と今後の図書館の在り方について伺う。
答弁 生涯学習の中核施設として、地区館の指定管理者と中央図書館が協力し事業を進める。学校図書館整備については、教育委員会と学校が連携して進めていく。資料の電子化等についても今後研究していきたい。

市政運営の方向性を問う
細谷 祥子
 (自民クラブ)

【質問】 この3年間の市政運営の中で、無駄を省いたと胸を張って言える施策はあるか。
 市長 退職者不補充のほか、児童館と図書館への指定管理者制度の導入、学校給食調理業務の民間委託など、民間活力を導入して定員管理計画を著実に実行し、人件費を総体として削減してきたと考えている。

【質問】 地場農産物を活用した加工品をどのように支援していくのか。
答弁 柳久保小麦を使用したかりんとう、手打ちうどん、まんじゅうなどの開発に取り組んで来た。また、市内産の梅を使った梅ワインを酒販組合と連携して販売している。市内産農産物を活用した商品を開発し、販売を進めることは、市内農業・商業の活性化につながる。今後どのようにした産業振興に取り組んでいく。

市長に辞職勧告決議
津田 忠広
 (公明党)

【質問】 市長は、3・6・9月と陳謝・減俸をしてきたが、いずれも24年度予算の否決や辞職勧告決議に伴うものではない。否決を重く受け止めるというが、責任を感じていないのか。3度の否決と辞職勧告は、陳謝・減俸に値しないのか。
 市長 その時々総合的に判断した上で提出した。政治姿勢によって予算が認められないのが、認めていただくよう重ねてお願いしたい。

【質問】 職員の小集団活動について、市民サービス向上のため、職員が自発的・能動的に議論し合い、市民満足度を追求することが大事だが、現状は。
答弁 本年度から自主研修助成制度を始めた。研修活動に対する助成で、小集団活動などの自主性を高めることを促そうと考えている。職員の資質向上・育成は急務であり、今後も意識・意欲を高めるべく取り組んでいきたい。

議会の真摯な議論をつくせ
沢田 孝康
 (公明党)

【質問】 失業・経済的困難・精神障がいなど、個人の事情に応じて、就労・医療・福祉・法律などさまざまな分野が連携し細やかな支援を行う。内閣府が立ち上げたパソナル・サポート・サービス事業について、市の見解は。
答弁 福祉部門や地域資源等も含め、専門人材の確保・有効なシステムの構築等、さまざまな課題がある。国の動向等を注視し検討していく。

【質問】 「コンパクトシティ」取り下げに伴い、市長から9月10日に、「まちづくりの理念・考え方について」という資料が提出された。議会での議論の末、取り下げの理由・内容はホームページ等で示したいとのことであった。しかし、掲載されたものは、提出資料と同じものである。9月議会のさまざまな議論・指摘は考慮したのか。
 市長 議会でのやりとり等を考え、調整・検討の結果、同じものになった。

前を向いて進もう!
三浦 猛
 (公明党)

【質問】 小型家電の分解・売却は収益が見込める。福祉作業所で働く障がい者の工賃アップのために活用できないか。市内に就労継続支援A型事業所ができるような取り組み、あるいは市外からの誘導を、関係部署と連携して検討してほしい。
答弁 就労についてはさまざまな努力をしているが、調査・研究しても。
答弁 回収については、一定の課題もある。情報提供しながら、前向きに捉えていきたい。

【質問】 上の原地区の企業等誘導について、大学を積極的に誘導する考えは。
答弁 支援委託業務のこれまでの活動では可能性の高い情報はなく、非常に難しい状況であるが、PR活動を継続する。その一環として、大学と私立大学の団体組織など80件以上、立地案内を行った。反応を見ながら、企業誘導と共に積極的に取り組んでいく。

利用しやすい制度づくりを!
関根 光浩
 (公明党)

【質問】 介護保険制度では、福祉用具購入費・住宅改修費は、利用者がいったん全額を支払う償還払いである。一時的な負担を導く方のために、受領委任払い制度を導入する考えは。
答弁 負担が困難な方を対象に、平成24年10月から高額介護サービス費等資金貸付制度を利用してできるように見直しした。保険給付の9割分を無条件で貸し付けるものである。受領委任払いについては課題があり、調査・研究したい。

【質問】 23年度全国で受けた児童虐待相談件数は過去最多である。市の現状は。
答弁 件数は増えてはいる。虐待対応強化のため、子ども家庭支援センターへの専門職員の配置や職員のスキルアップのほか、あらゆる方策を検討する必要があると考えており、身近に相談できる体制を整えていく必要がある。深刻な事例や対応困難事例などは、児童相談所や関係機関と連携を図っている。

東久留米市地域資源
 マスコットキャラクター
湧水の妖精
るるめちゃん

市政のここが聞きたい

第4回定例会の一般質問は、12月5日～10日の4日間にわたり行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の会議録は、2月下旬より、市HPまたは、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（本庁舎2階）でご覧いただけます。

市長の政治姿勢は重要な課題!
津田 忠広
 (公明党)

【質問】 市長は、3・6・9月と陳謝・減俸をしてきたが、いずれも24年度予算の否決や辞職勧告決議に伴うものではない。否決を重く受け止めるというが、責任を感じていないのか。3度の否決と辞職勧告は、陳謝・減俸に値しないのか。
 市長 その時々総合的に判断した上で提出した。政治姿勢によって予算が認められないのが、認めていただくよう重ねてお願いしたい。

【質問】 職員の小集団活動について、市民サービス向上のため、職員が自発的・能動的に議論し合い、市民満足度を追求することが大事だが、現状は。
答弁 本年度から自主研修助成制度を始めた。研修活動に対する助成で、小集団活動などの自主性を高めることを促そうと考えている。職員の資質向上・育成は急務であり、今後も意識・意欲を高めるべく取り組んでいきたい。

議会の真摯な議論をつくせ
沢田 孝康
 (公明党)

【質問】 失業・経済的困難・精神障がいなど、個人の事情に応じて、就労・医療・福祉・法律などさまざまな分野が連携し細やかな支援を行う。内閣府が立ち上げたパソナル・サポート・サービス事業について、市の見解は。
答弁 福祉部門や地域資源等も含め、専門人材の確保・有効なシステムの構築等、さまざまな課題がある。国の動向等を注視し検討していく。

【質問】 「コンパクトシティ」取り下げに伴い、市長から9月10日に、「まちづくりの理念・考え方について」という資料が提出された。議会での議論の末、取り下げの理由・内容はホームページ等で示したいとのことであった。しかし、掲載されたものは、提出資料と同じものである。9月議会のさまざまな議論・指摘は考慮したのか。
 市長 議会でのやりとり等を考え、調整・検討の結果、同じものになった。

イオンのための道路整備にNO!
村山 順次郎
 (日本共産党)

【質問】 イオンA.C.に関連する市道11号線と所沢街道交差点の整備について、市の取り組みと事業者が全額費用負担することの整合性は。
答弁 所沢街道との交差点を交通開放しなければ、11号線の整備効果が発揮されない。市として地区計画決定してまちづくりを進めており、この着実な実施を図る必要がある。事業者としては、開発事業に伴う基盤整備は開発者負担という原則があり、事業者が整備主体となるものである。

【質問】 大道幼稚園跡地には、認可保育園を誘致するべきと考える。
答弁 喫緊の行政課題への対応を図るため、各部署からの意見、市の財政負担を考慮し、最低限の改修で活用する。この観点から、教育相談室と防災備蓄倉庫に決定した。園舎を保育園として活用するには、調理室など一定の改修が必要であり、考えていきたい。

宝泉寺通りの整備を求める
永田 雅子
 (日本共産党)

【質問】 宝泉寺通りの整備計画に関し、①横断歩道の塗り直しと信号機の設置を、②登校時は東中、下校時は神宝小に配置している交通擁護員を、両箇所とも登下校時に配置することを求める。
答弁 ①生活道路でもあり通学路でもある宝泉寺通りを優先して整備すべき。
答弁 ①現地を確認し、要請していきたい。②第四小閉校に伴う経過措置として配置。都の補助金を活用したし、限られた配置であり、その中で対応したい。

【質問】 都市計画道路の進捗状況を見て考えたい。
答弁 ①東3・4・5号線と19号線に自転車専用レーンを設置できないか。
答弁 ①部分開放を監視しと協議してきたが難しい。②都道となる5号線は交通管理者と協議を進めていきたい。19号線はおおむね築造済みで難しい。

いじめのない学校づくりを
篠原 重信
 (日本共産党)

【質問】 教育行政に関し、①「いじめ」のない学校づくりに向けた取り組みは、②洋式トイレの設置は小学校36・7%、中学校24・4%に過ぎない。計画的な増設を求める。
答弁 ①児童・生徒の生命に関わる重大な課題であり、人権上の問題との視点から、危機感を持って対応するよう、学校に対し啓発及び指導に努めていく。また、いじめの起こらない、起させない学校づくりを進めるよう、関係機関・保護者、地域等の協力も得ながら解決に向け全力を挙げていく。②今後、大規模改造工事を計画的に進め、工事実施に合わせた整備を行いたい。

【質問】 都立八仙公園に市の防災倉庫を設置するよう都に要請。
答弁 防災倉庫は設置可能であり、アクセス・防犯・防災・防災ベンチなど、防災機能充実に向け、関係部課と連携を取り、東京都と協議していく。

市長の民営化強行に道理なし!
原 紀子
 (日本共産党)

【質問】 みなみ保育園民営化に向けた3者協議も行われていない状況で協定を結ぶべきではないと考えるが見解は。
答弁 平成25年3月までに法人と東京都との買値等の契約行為がある。それに先立つ条件として、市と法人の基本的な協定の締結が必要であり、年明けには結ばないと考えている。
市長 都営住宅建て替えに関する協定により、平成26年4月の開園が決まっている。引き継ぎや保育内容等について、協定を結ぶべきであり、保護者の方々の意向に最大限配慮したいと考えているが、期限があることは、ぜひご理解いただきたい。

【質問】 福祉サービスを見直す場合は、市民に見えるように説明し、意見を十分に聞いて進めるべきと考えるが。
答弁 その過程を含め、関係者を含む市民との情報共有に努め、十分に説明責任を果たすことが必要と考える。

予算編成の危機と給与構造改革
梶井 琢太
 (市議会民主党)

【質問】 25年度予算編成について、①財源不足見込み額は、②給与改定を主とする人件費抑制は、③行財政改革でクシヨシランの地域手立の目標9%に対し、現在は10%であるが今後はいかに。
答弁 ①予算要求締め切り時点は、前年度より6億5千万円増の、約26億1千万円である。②東京都人事委員会からの勧告を受けた住手立見直しと給付月額引き下げによる影響額は、約1千万円を見込んでいく。③現時点では計画を履行していきたいと考える。

【質問】 東京都の給与改定では、退職手当の引き下げや、55歳定期昇給停止も含まれているが市の対応は。
答弁 市町村職員退職手当組合でも、東京都が連携した改正を視野に取り組んでいくと考えている。定期昇給の見直しについては、人事評価制度の対象範囲を職員へ広げる中で併せて検討していく。

難病福祉施策の充実を求める
桜木 善生
 (社会・市民会議)

【質問】 難病福祉施策に関し、①市内在住の難病者の積極的な取り組みを求める。②福祉計画の見直し、変更が必要では。
答弁 ①サービス希望者には医療等で申請助費を行い支給しつなげていく。また、日常生活用具に係る要綱や難病者福祉手立の見直しについても検討していく。②第4期計画策定から反映させていくことが国から示されている。

【質問】 清掃行政に関し、①今後のみ対策の在り方は、②任期中の家庭ごみ収集有料化は断念したのになぜ、計画を確定させようとするのか。
答弁 ①委託業者の指導、弱者対策、市民への啓発活動、不法投棄等のハトリールなど、効果的な職員配置等を検討してきたい。
市長 ②すでに方向性は決まっている。25年度以降、実施計画を確定させ、有料化導入に向けた通函をつけた。

支援策について問う
間宮 美季
 (社会・市民会議)

【質問】 災害時要援護者の支援について、①地域包括支援センターや介護事業所等への個人情報事前提供が必要と考えるが、②妊娠婦・乳幼児についても二次避難所への避難を検討すべき。
答弁 ①要援護者の情報提供は年度開始時から大きな問題であった。重要なことと研究したい。②避難所として指定できる適切な施設があれば指定を進めたいが、見出せていない。
【質問】 若年者のひきこもり対策について、①適切な専門機関につなごうというインテーターとしての役割が必要である。市の支援体制の現状は、②福祉の総合相談窓口の検討は。
答弁 ①福祉部門だけでカバーできない問題ではなく、学齢期に関わる部署や保健所との連携を進めた。②過去からの課題であるが、具体的なものが見えない。どんな体制がとれるか調整してきたい。

【質問】 保育園民営化について、馬場市長は選挙公約では否を述べていないので公約違反はないと言いが、3年前市長選挙に立候補した時、みなみ保育園を民営化し、さいわい保育園を新たに民営化しよと公約があったのか。
市長 市長になってから判断し、取り組んで来たのである。
【質問】 馬場市長が新たな保育園の民営化を進めることは公約違反と考える。
市長 4年間の任期をきり果たすことには傾注している。

次期市長選挙で問うべき課題
宮川 豊史
 (久留米ハートネット)

【質問】 家庭こみ収集有料化は全市の市民に関わる問題。選挙で市民の判断を受けてから提案すべき。
市長 現時点では答えられないが、議員の考えは受け止める。
【質問】 イオン誘導の公約違反は。
市長 改めての場をお借りしておわびする。

【質問】 宝泉寺通りの整備計画に関し、①横断歩道の塗り直しと信号機の設置を、②登校時は東中、下校時は神宝小に配置している交通擁護員を、両箇所とも登下校時に配置することを求める。
答弁 ①生活道路でもあり通学路でもある宝泉寺通りを優先して整備すべき。
答弁 ①現地を確認し、要請していきたい。②第四小閉校に伴う経過措置として配置。都の補助金を活用したし、限られた配置であり、その中で対応したい。